

令和4年度 学校自己評価システムシート 日高市立高萩北中学校

目指す学校像	よさや取り柄を伸ばし未来を創造する力を育む学校
重点目標	「すべての教育活動は子どもたちのために」 1) 開かれた学校づくり 2) 確かな学力の向上 3) 豊かな心の育成 4) 健やかな体を育む環境整備 5) 教職員の資質向上

学 校 自 己 評 価						学校運営協議会での評価		
年 度 目 標			令和4年度評価 (令和4年12月24日現在)				実施日 令和5年1月19日	
評価項目	具体的方策	評価指標	A+Bの割合		達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会の委員からの意見・要望・評価等
			職員	保護者				
組織運営の充実 (小中一貫の視点)	・職員会議提案資料に学校教育目標との関連を明記し、一貫した方向性を持って全ての教育活動を行う。 ・誰一人見捨てない姿勢を貫き、いじめを予防する	1 学校教育目標「自立・創造・貢献」を目指して努力している	100	96	・学校行事では、生徒による実行委員会を組織し、生徒が主体となって活躍する場面を意図的に設けることで成就感を持たせられた。 ・人権カレンダー、人権標語を作成する過程でお互いを思いやる機会を設け、アンケートや二者、三者相談等を通じていじめの予防ができた。	A	・学級目標が学校教育目標との関連を考えて立てられているので、具体的に目標が達成できる機会を作る。 ・少なくなってきたはいるが、依然としてSNSトラブルがある。情報リテラシーを高めると同時に、B J活動と関連させながら指導を続けていく。	・学校運営方針等を学校運営協議会と地域学校協働本部が共有し、取組を進めていくことが重要だ。 ・人権カレンダーは非常によい取組。お互いを思いやる気持ちの醸成を期待する。継続をお願いしたい。 ・生徒が主体となって活動できることはすばらしい。いじめ予防早期発見のため、アンケートと面談は継続してほしい。 ・自分に役割があり、学級に必要な存在と覚えることが楽しさにつながるのではない。 ・コロナで抑圧されていた生徒たちの心のケアをどうするかが課題である。
		2 いじめの予防や改善に努め、生徒にとって楽しく通える学校にしている	96	91	・西部教育事務所、日高市教委の指導を受け、目標やねらいを明確にし、生徒自身の言葉でまとめを考える授業を展開できた。 ・授業外の学習につながるよう、学習内容を広げて指導するようにしていたが、家庭での学習習慣を促すには至らなかった。	A	・コロナ禍が続いているが、感染対策を講じた上でペアやグループを活用した協同的な学びを実施していく。 ・学びの貯金(家庭で学習する内容を考えて教科書などを持ち帰る活動)は概ね定着しているのので、授業と同様に「わかる」ための家庭学習を指導していく。	
基礎学力の定着	・協同的な学びや協調学習を手法の一つとして取り入れ、全ての生徒の学びを保証する。 ・生徒の意識を高め、自宅学習システムなどを有効活用して学力を伸ばす。	3 学習内容が身につくよう「わかる授業」をしている	92	89	・西教務所、日高市教委の指導を受け、目標やねらいを明確にし、生徒自身の言葉でまとめを考える授業を展開できた。 ・授業外の学習につながるよう、学習内容を広げて指導するようにしていたが、家庭での学習習慣を促すには至らなかった。	A	・コロナ禍が続いているが、感染対策を講じた上でペアやグループを活用した協同的な学びを実施していく。 ・学びの貯金(家庭で学習する内容を考えて教科書などを持ち帰る活動)は概ね定着しているのので、授業と同様に「わかる」ための家庭学習を指導していく。	・タブレット活用やアクティブラーニングの推進など、「便利を上手に」利用する取組に期待する。 ・中学校でもグローバル時代を見据え、英語力会話をつけることが重要だ。 ・家庭学習の重要性や手引き等、改めて指導してほしい。なぜ学ばなければいけないのかと思わせることが大切だろう。 ・塾と家庭学習のあり方に課題がある。 ・授業参観の機会が少なく残念だ。
		4 生徒に家庭学習の習慣が身につくような指導をしている	80	80	・毎月発行する学校だよりでは、生徒の活躍を中心に中学校に関わる事柄を広く周知してきた。また、「輝多っ子」を通し、学校と地域をつなぐ活動を伝えることができた。 ・三者相談や懇談会で出された課題を、学年、学校全体で共有し対応する体制を作ることができた。	A	・地域や保護者の様々な意見や要望を整理し、実現可能なことを着実に実現していく。 ・コロナ対策を万全にし、行事や日々の授業など学校公開を実施する。 ・「輝多っ子サポーターズ」の実効性を高める計画の立案を行う。	
保護者や地域との連携 (コミュニティー・スクールの視点)	・教育活動の様子を積極的に発信し、コロナ禍において不透明な教育内容を外に開く。 ・学校への要望や意見に耳を傾け、真摯に対応する。	5 学校だより、小中一貫だよりなどで教育活動を伝えている	96	96	・毎月発行する学校だよりでは、生徒の活躍を中心に中学校に関わる事柄を広く周知してきた。また、「輝多っ子」を通し、学校と地域をつなぐ活動を伝えることができた。 ・三者相談や懇談会で出された課題を、学年、学校全体で共有し対応する体制を作ることができた。	A	・地域や保護者の様々な意見や要望を整理し、実現可能なことを着実に実現していく。 ・コロナ対策を万全にし、行事や日々の授業など学校公開を実施する。 ・「輝多っ子サポーターズ」の実効性を高める計画の立案を行う。	・学校だよりで学校の様子がよくわかる。学校運営協議会との連携がよく図られている。 ・学校だよりや輝多っ子、学校連絡メールでの発信、とてもいい。もっとメールを活用してペーパーレス化してもいい。 ・輝多っ子サポーターズへ多くの人に参加してもらえるように、地域の方にも北小中学校に関心と愛着をもってもらえるような取組が必要。学校側からKITAへ協力してもらいたいことを発信してもらいたい。
		6 保護者や地域の期待や要望に耳を傾け、改善しようとしている	96	91	・毎月発行する学校だよりでは、生徒の活躍を中心に中学校に関わる事柄を広く周知してきた。また、「輝多っ子」を通し、学校と地域をつなぐ活動を伝えることができた。 ・三者相談や懇談会で出された課題を、学年、学校全体で共有し対応する体制を作ることができた。	A	・一年を見通した計画に基づき道徳の授業が実施でき、学年の課題に応じて臨機応変に対応もできている。道徳推進教師を中心に、道徳教育をさらに充実させる。 ・密を避けることで生徒同士が心の距離を感じてしまう場面がある。方法を工夫することで対応していく。	
社会性人間性の育成	・道徳授業、学級の話し合い活動の充実を通して規律ある態度を育成する。 ・コロナ禍の制限がある中で最大限の成果が期待される行事を考え実施する。	7 あいさつ・言葉遣い・決まりを守るなど、規律ある態度の育成をしている	96	94	・教員が最大の教育環境であることを自覚し、率先垂範すると共に言動にも細心の注意を払って教育にあたった。 ・コロナ禍ではあったが、体育祭の種目変更や合唱祭の学年別実施など、形を変えることで対応し、内容を充実させた行事ができた。	A	・一年を見通した計画に基づき道徳の授業が実施でき、学年の課題に応じて臨機応変に対応もできている。道徳推進教師を中心に、道徳教育をさらに充実させる。 ・密を避けることで生徒同士が心の距離を感じてしまう場面がある。方法を工夫することで対応していく。	・合唱祭はすばらしかった。生徒の態度もすばらしかった。 ・コロナ禍において行事や活動が制限される中で、先方の苦勞により活動できている。 ・地域の方々との挨拶等、難しい中であっても人との関係や言葉遣い、決まり事を大事にしてほしい。 ・道徳を学ぶ機会を失わずにすんだことで、生徒の心の平穏やつながりを育むことになった。 ・小さい頃からの積み重ね、注意、厳しくしやることの大切さをわからせたい。
		8 コロナ禍にあっても行事の内容や実施方法を工夫し、心の育成をしている	100	98	・毎月発行する学校だよりでは、生徒の活躍を中心に中学校に関わる事柄を広く周知してきた。また、「輝多っ子」を通し、学校と地域をつなぐ活動を伝えることができた。 ・三者相談や懇談会で出された課題を、学年、学校全体で共有し対応する体制を作ることができた。	A	・一年を見通した計画に基づき道徳の授業が実施でき、学年の課題に応じて臨機応変に対応もできている。道徳推進教師を中心に、道徳教育をさらに充実させる。 ・密を避けることで生徒同士が心の距離を感じてしまう場面がある。方法を工夫することで対応していく。	
安心安全な教育環境	・地域の組織と連携して計画的に環境整備を進める。 ・委員会活動、清掃活動や北極星清掃を充実し、きれいな学校づくりをする。	9 花植プロジェクトなど緑化を行い、潤いのある環境づくりをしている	96	95	・花植プロジェクトは計画通りに実施できたが、地域清掃は2回の実施となった。 ・地域の方に関わっていただいている花壇を、生徒の環境美化委員会が管理している。委員会活動での水やりは、年間で欠くことがなかった。 ・改修後の校舎について、美しいまま使用できるよう清掃方法や用具を選定した。	A	・花植プロジェクトに参加する生徒を、環境美化委員会から生徒会本部、有志の活動と広げていく。 ・清掃活動については、小中一貫の視点から、小学校高学年から中学校3年までを同じやり方で取り組むようにしたい。小中合同研修会等ですりあわせの機会を設定する。	・校舎内外の清掃が行き届いていて、いつもきれいで感心する。 ・花植プロジェクトはとてもいい。花や緑があることで、地域全体の環境も整う。 ・植えるだけでなく、継続的な水やりを生徒が責任を持ってやってくれているのが素晴らしい。 ・整理整頓されている環境の中で生活し、勉強できることは潤いのある充実したものになる。 ・2年生との校外清掃は、皆真面目に小さなゴミを拾い、すれ違う人との挨拶もできてとても楽しかった。 ・学校運営協議会と生徒会の話し合いを是非持ちたい。
		10 清掃活動を充実させ、学校を清潔に保ち、安心して使用できるようにしている	96	96	・改修後の校舎について、美しいまま使用できるよう清掃方法や用具を選定した。	A	・校舎内外の清掃が行き届いていて、いつもきれいで感心する。 ・花植プロジェクトはとてもいい。花や緑があることで、地域全体の環境も整う。 ・植えるだけでなく、継続的な水やりを生徒が責任を持ってやってくれているのが素晴らしい。 ・整理整頓されている環境の中で生活し、勉強できることは潤いのある充実したものになる。 ・2年生との校外清掃は、皆真面目に小さなゴミを拾い、すれ違う人との挨拶もできてとても楽しかった。 ・学校運営協議会と生徒会の話し合いを是非持ちたい。	

※達成度 「A」ほぼ達成(8割以上) 「B」概ね達成(6割以上) 「C」変化の兆し(4割以上) 「D」不十分(4割未満)